

SAKUらいぶ 65号

図書館だより

平成28年 新年度号

作新学院大学 作新学院大学女子短期大学部 図書館



【 内容 】

- ・春は、未来である
- ・作大図書館へようこそ
- ・本の囁き
- ・らいぶ Question
- ・SAKUらセレクト
- ・図書館開館カレンダー

「春は、未来である」

作新学院大学教授 図書館長 加藤憲明

新しい命の芽吹き、未知の世界への旅たち、別れと出会い。3月、4月は、希望と不安が交錯する季節である。「春のくるまでかくれている/つよいその根は眼にみえぬ」（金子みすず『星とたんぽぽ』）。孤独という飢餓に耐える若い時の日々は、成長期の別名であると言えるのではないか。挫折のさなかには苦しみにのたうつばかりである。孫引きであるが、『赤毛のアン』の中に「曲がり角の先には、きっと一番良いものが待っている」（村岡花子訳）という一節がある。

先行き不透明で、明るい未来が来ると簡単に言えない時代である。でも夢を持てば、辛いことも少しは耐えられるのではないか。大切なのは、自分の未来を信じ、希望をもつことであると思われる。「曲がり角」の先に、晴れ間が待っているかもしれない。つぼみの開く春は、いつか来る。

図書館は、分からないことを調べるだけではなく、自由に様々なジャンルの本を手に取り、ゆっくりと自分を見つめる時間を過ごすところでもあると思われる。ぜひ図書館に来てください。

作大図書館へようこそ



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。キャンパスの中で、ひととき目を引くブルーグレイの建物。それが作大図書館です。

この図書館の設計は、東京オリンピック・パラリンピックのメイン会場である新国立競技場のデザインを手がけた隈研吾(くま けんご)氏によるものです。「隈氏の造った図書館を見せてください」と若き建築家がたくさん見学に訪れます。

では、何がそれほどステキな図書館なのでしょう。

広々としたフロア、高い天井、中央のスロープは心をやすやすと解き放ってくれます。みなさんがこれまで使っていた高校の図書室とはイメージが少し違うかもしれません。大学生になったんだという実感が湧き上がるでしょう。大きな学習机は柔らかな自然光に包まれ、本を読んだり、考え事をしたりするのもってこいです。館内にあるグループ学習室では、友人と話しながら勉強できます。パソコンを使ってレポートを書いたり、インターネットを見たりすることもできます。

蔵書は24万冊。授業に即した経営学・心理学・教職関連・幼児教育関連の本はもちろん、文芸書や洋書に至るまで豊富なラインナップです。

このように見た目も中身も充実した図書館を使わない手はありません。みなさんの大学生活の始まりにどうぞご利用ください。

	図 書	紙 芝 居	雑誌のバックナンバー
学 部 生	5冊/2週間	5冊/3週間	5冊/1週間
卒業年次生	10冊/1ヶ月	5冊/1ヶ月	
大学院生	15冊/1ヶ月		
一般利用者	5冊/2週間		貸出はありません



本の囁き

図書情報課長 杉山俊幸

特に読みたい本があるわけではないが、気分転換に図書館に行き、書棚の間を本のタイトルを何気なしに見ながら、ゆっくりと散歩する気分で歩いてみる。

『お寿司地球を廻る』、『「みんな」のバカ!』、実にいろいろなタイトルの本がありそれを見ているだけでも面白い。ふっと足が止まり1冊の本が目に入った。タイトルは『夢の王国の光と影 東京ディズニーランドを創った男たち』。ちょっと読んでみようかと借りる。読み始めると実に面白く、繰り返し読むたびに新たな発見があり、ディズニーランドをより楽しむことができた。

それ以来、時間があるときに図書館を散歩するようになった。あるとき静かな図書館から何か囁く声が聞こえる気がし、ふっと立ち止まると『私がマツモトキヨシです』という本があった。この本も読んでみると実に面白い。

図書館での本との出会い。本たちは書架に配架され、ほとんど動くことなくそこに留まっているが、人が通ると「僕はここにいるよ」「私面白いのよ」「君の探し物はここだよ」などと囁いているのではないのでしょうか。ぜひみなさんも、図書館で本の囁きを感じてみませんか。

お寿司地球を廻る 080/Ko/23

「みんな」のバカ! 080/Ko/152

東京ディズニーランドを創った男たち 689.3/No

私がマツモトキヨシです 499/Ma

らいぶ Question

パンデミックを防ぐために 岩波ブックレット 080/Iw 877 より

パンデミックとは、新しく発生した、またはかつて発生していた感染症の流行の規模が大きくなり、複数の国や地域に、さらには(①)に拡大して大流行する状態を意味する。原因は病原体に対する免疫が人になかったり、または(②)したりしているためにウイルスが容易に人の間で拡大しやすいことがあげられる。いつでも起こり得るパンデミックに対して、各国が常に自国の特性に応じて(③)を整えることが基本とされている。

図書館にある資料から出題します。答えはカウンターにある解答用紙に記入してください。全問正解で1ポイントです。今年度中に5ポイント集めた方には、記念品を贈呈します。

SAKUらeselect

～本学図書館にある珠玉の1冊を紹介します～

女のいない男たち 村上春樹 著 913.6/Mu

大切な女性を失った男たちの六つの物語。

めったに短編小説を書かない著者が九年ぶりに短編集を刊行したのは“大切な女性を失った男たちというモチーフに創作意識を絡め取られたから”だとしています。どの物語にも選ばれた美しい言葉と独特の比喩が光っています。短編集ですが大きな物語を読み終えたような充足感が得られ、村上ワールドに浸ることができます。

「イエスタディ」の「僕・木樽・えりか」の関係は1987年の著書「ノルウェイの森」の「僕・キズキ・直子」を彷彿とさせて、「ノルウェイの森」を愛読した人には懐かしさや親しみを抱かせるでしょう。

タイトルの付け方に特徴のある村上作品ですが、本書もその例にもれず、アメリカの作家ヘミングウェイの書いた「女のいない男たち」を連想させるように作られているのかもしれませんが。こちらの本も図書館にありますので、気になる方はチェックしてください。



インフォメ

他の大学図書館で所蔵している資料や、雑誌に収録された論文などを複写したい場合は、カウンターにある「文献複写申込書」を書いて申請しましょう。

本学にはない資料でも、所蔵している機関に依頼して必要な複写物を送ってもらうことができます。(有料)

図書館開館カレンダー 5月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				



9:00~18:00



9:00~17:00



休館日

~~~~~ 発行・編集 ~~~~~  
作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 図書館  
Tel 028-670-3651・3652  
Fax 028-670-3619  
E-mail [tosyo@sakushin-u.ac.jp](mailto:tosyo@sakushin-u.ac.jp)  
URL <http://www.sakushin-u.ac.jp/library/>

